

2007年10月26日

特定非営利活動法人 日本高血圧学会
日本高血圧協会

報道関係各位

日本高血圧学会・日本高血圧協会 5月17日を「高血圧の日」に制定 —サイレント・キラーから国民の健康を守るために—

特定非営利活動法人 日本高血圧学会と日本高血圧協会は、10月25日から開催されている第30回日本高血圧学会総会において、毎年5月17日を「高血圧の日」とすることを宣言いたしましたので、お知らせいたします。これを機に、本年5月17日の「世界高血圧デー」*¹を中心に実施いたしました高血圧の啓発活動を、2008年からは日本でも正式に「高血圧の日」にあわせて引き続き行ってまいります。

高血圧(140/90 mmHg以上)は、日本人の三大死因のうちの二大疾患である脳卒中や心臓病など、生命に関わる病気を引き起こす最も主要な原因となっています。しかし、高血圧はサイレント・キラーと呼ばれるように、自覚症状がないために、現在、日本に約4,000万人と推定されている高血圧患者のうち実際に治療を受けているのはわずか2割の約800万人といわれています。

日本高血圧学会の松岡博昭理事長(獨協医科大学循環器内科教授)は、今回の「高血圧の日」制定について、「高血圧が脳卒中などの重篤な疾患を引き起こすことについて、一般の方の認知が極めて低いことに危機感を覚えています。5月17日は我々も加盟している世界高血圧リーグ*²が制定した世界高血圧デーです。日本でも同じ日を『高血圧の日』と定め、学会としても日本高血圧協会とともに、各方面の協力を得ながら、一般の方への啓発活動を積極的に進めていきたいと思っております。そして、少しでも血圧に不安を感じた方が、医師に相談をしていただけるようになることを期待しています」と述べています。

また、日本高血圧協会の荒川規矩男会長(日本高血圧学会名誉会員・福岡大学名誉教授)は、「高血圧は、いまだに『自覚症状がなければ大丈夫』『血圧は少し高い程度なら大丈夫』と甘く考え、受診せずに放置していて、大変な事態に陥ってから悔やむ人が後を絶ちません。今回の『高血圧の日』制定を機に、高血圧に関する正しい情報をこれまで以上に一般の方々に広く継続的に提供していくことは私どもの非常に重要な任務であると思っております」と述べています。

日本高血圧学会と日本高血圧協会は、2008年の「高血圧の日」を中心に、2007年の世界高血圧デーに合わせて実施した、高血圧の理解を深め、自分の健康のために定期的な血圧測定を促す啓発キャンペーン「ウデをまくろう、ニッポン!」*³をさらに強化し、展開する予定です。詳細はまたその都度、順次発表してまいります。

以上

***1 世界高血圧デー:**

「世界高血圧デー:World Hypertension Day」は、国際高血圧学会の一部門である世界高血圧リーグにより、高血圧およびその管理に関する啓発を目的として、2005年に創設されたものです。創設以来、その参加国は増え続け、2007年からは日本も参加し、合わせて25カ国以上が参加しています。

***2 「世界高血圧リーグ」(World Hypertension League):**

世界高血圧リーグ(WHL)は1984年に設立以来、高血圧の危険性と高血圧がもたらす深刻な病気や合併症についての知識を一般市民に伝えるよう世界各国の団体に推奨し、予防と発見、治療に関する情報を提供しています。WHLは国際高血圧学会 (ISH)の一部門で、現在81のメンバーと11のサポート・メンバーで構成されており、日本では日本高血圧学会がメンバーとなっています。

***3 啓発キャンペーン「ウデをまくろう、ニッポン！」:**

2007年5月17日の「世界高血圧デー」に合わせて行った「ウデをまくろう、ニッポン！」では、健康な生活を送るためには生活習慣の改善と日頃の血圧測定が重要という、高血圧の啓発を目的として、様々なイベントと情報提供活動を行いました。5月17日の「世界高血圧デー」の日には、高血圧(140/90 mmHg以上)を適切に管理(下記ガイドライン参照)して、望ましい血圧値を維持することの重要性を啓発するために、千葉マリスタジアムで、24時間以内に、どれだけ多くの人が一箇所「ウデをまくって」血圧測定できるかというギネス世界記録™に挑戦し、世界記録を樹立しました。またスタジアム以外の活動としては、首都圏の大規模スーパーマーケットでの血圧測定のイベントを行うとともに、キャンペーン期間中は、「ウデをまくろう、ニッポン！」啓発ポスターやインターネットの高血圧に関する情報提供ウェブサイトを通して積極的な情報提供を行いました。なお、本キャンペーンは、当学会および当協会の主催で、ノバルティス ファーマ株式会社が特別協賛し、オムロン ヘルスケア株式会社の協賛、社団法人日本脳卒中協会および健康日本21推進全国連絡協議会の後援で実施されました。

*** 高血圧治療ガイドラインで定められている血圧目標値および至適血圧値:**

- | | |
|----------------------|--------------|
| ➤ 65歳以上の患者さん | 140/90mmHg未満 |
| ➤ 65歳未満の患者さん | 130/85mmHg未満 |
| ➤ 腎障害・糖尿病を合併している患者さん | 130/80mmHg未満 |
| ➤ 至適血圧値 | 120/80mmHg未満 |

日本高血圧学会および日本高血圧協会について

日本高血圧学会は1978年4月、循環器専門医を中心に会員約300名で発足。現在の会員数は正会員 2,291名、賛助会員 30社(2007年2月現在)。広く一般市民を対象として、高血圧並びにこれに関する諸分野の研究調査、知識の普及、啓発、学術集会の開催を行うことにより学術を進歩向上させ、もって広く国民の健康増進に寄与することを目的とする非営利活動法人です。また日本高血圧協会は、日本高血圧学会などで発表される高血圧予防や治療に関する研究成果を、一般の医師や市民に対して広く普及・啓蒙する目的で、市民レベルの啓発活動を行う組織として2005年9月に設立されました。

この件に関するお問い合わせ先:

日本高血圧学会総会 事務局
大屋祐輔

Tel: 098-942-9212

Mail: JSH2007@med.u-ryukyu.ac.jp